

牛馬童子像の発見について（市長コメント）

平成22年8月16日に田辺市鮎川で発見された石造物が、昨日、田辺市教育委員会により写真と照合の結果、一昨年6月に損壊を受けた牛馬童子像の頭部と判明しました。

一報を聞き、2年余りの月日を経て発見されたことに対して大変驚くとともに、頭部が無事戻ってきたことを喜びたいと思います。

牛馬童子像は、明治時代に花山法皇をモデルとして製作されたと言われている石像で、熊野参詣道中辺路のシンボリックな存在であり、損壊事件は私たち田辺市民にとっては大きな衝撃でした。この心ない行為に対しては、今も憤りと悲しみは消えませんが、今回頭部が戻ってきたことで、その気持ちも少しは和らいだような気がします。

文化財は、私たちがはるかな時間を超えて祖先から受け継いできたものです。次の世代に確実に伝えていくために、事件を教訓に今一度思いをめぐらせていただき、みんなで大切に保護されるよう、ご協力をお願いいたします。

また、今回の発見にあたっては、地元の中学生の機転と速やかな通報があったと聞き及んでおります。その行為を称えらるとともにお礼を申し上げたいと思います。また、地元の皆さんをはじめとする関係各位の方々、そして、損壊事件に心を痛めながらも、発見に向けてご協力いただいた全ての方々に感謝申し上げます。

なお、発見された頭部の取り扱いに関しては、今後慎重に検討して参りたいと考えておりますのでよろしくをお願いいたします。